

三重大学病院ニュース

ニュース

vol.14
2013
WINTER

無料



特集

医師の一週間

連載

診療科紹介 耳鼻咽喉・頭頸部外科

部門紹介 臨床麻酔部

病棟紹介 8階南病棟

設備紹介 CT

トピック

内田学長が行く沖永良部島
輸血部の新ユニフォーム
新外来棟・ウィッグ贈呈

レシピ
イベント情報
フロア案内図
受診案内



三重大学病院基本理念

1 患者さん本位の医療

患者さんの信頼と満足が得られる
最高・最良の医療を安全に提供する。

2 地域と世界の医療への貢献

地域医療に貢献し、
医学・医療の国際交流に努める。

3 臨床研究と人材育成の推進

未来を拓く臨床研究を推進し、
次代を担う優れた医療人を育成する。

ニュース
vol.14

特 集

3 医師の一週間

6 診療科紹介 耳鼻咽喉・頭頸部外科

8 部門紹介 臨床麻酔部

10 病棟紹介 8階南病棟(脳神経外科・神経内科・IVR科)

12 設備紹介 CT

連 載

13 内田学長が行く沖永良部島

15 輸血部の新ユニフォーム

17 新外来棟・ウィッグ贈呈

トピック

14 ひみつのレシピ

15 クロスワード

16 イベント情報

18 フロア案内図

19 受診案内

20 父母会のお知らせ

お知らせ

ミュース13号P17「看護Q&A」の記事で、「制帽式」とあるのは、「戴帽式」の誤りでした。訂正させていただきます。

特集
医師の一週間

Schedule book

特集 医師の一週間

整形外科 助教・病棟主任
宮本 勝

Schedule book

皆さんは、医師に対して

どんなイメージをお持ちでしょうか？

今回は、診療だけではなく、研究や教育を行う、
大学病院の中堅医師の一週間を紹介します

カンファレンス



整形外科では、研究発表会、術前検討会、術後検討会を毎週行っています。

研究発表会は月曜の午前中に行っており、若手医師が中心となり、自分たちが取り組んでいる研究内容を発表します。発表後、教授をはじめとする様々な先生を交えたディスカッションを行なっています。

術前検討会は、火曜日の夜間に行っており、月曜・木曜に行う手術についての検討を行っています。執刀医が概要を説明し、他の医師から質問などを受ける形で行われます。難しい症例の場合は、長時間にわたってディスカッションをすることもあります。

術後検討会は手術後に行われ、当日の手術内容について報告と今後の課題についての検討が行われます。リハビリの計画を考える必要がある時は、理学療法士や作業療法士にも参加してもらいながら、ディスカッションを行って決めています。

外来診療



私は「関節班」に所属していることもあり、火曜と水曜に股関節と膝の専門外来を行っています。県内各地の医療機関からの紹介で来院される患者さんや、私がかつて手術をさせていただいた患者さんが経過観察として来院されます。手術をして元気になられた患者さんの姿を見ると大変うれしい気持ちになります。

この他にも整形外科では、外傷などの一般的な整形外科疾患のみならず、骨軟部悪性腫瘍例、転移性骨腫瘍例、関節や脊椎疾患の再手術例や高度な技術を要する症例、遊離組織移植や微小血管吻合を要する手術、まれな疾患の症例、重篤な全身合併症がみられる症例に対して、より良い医療を提供できるよう努めています。

	月	火	水	木	金	土・日
午前	研究発表会 病棟回診 教授回診	病棟回診 外来診療	教授回診 外来診療			
午後	手術	講義	研究	手術	尾鷲総合病院	休日 勉強会や当直の場合もある
夜間	術後検討会 研究	術前検討会 研究	会議 研究	術後検討会 研究	研究	

手術



私は、股関節と膝の手術(人工関節置換術)を週2~4回程度行っています。この手術は、股関節や膝の損傷した部分を取り除き、人工関節(金属と超高分子ポリエチレン)に置き換えるものです。

こうした手術を行う時は、積極的に若手医師に参加してもらうようにしています。後で詳しく書きますが、大学病院は「若手医師を育てる場」でもあります。私自身、先輩医師から徹底的に鍛えてもらったからこそ、今の自分があると思っています。私は若い医師に「手術ができるようになった時とは、自分自身が執刀医ではなく、第一助手として執刀医が安心して快適な手術が出来る環境を提供できるようになって、初めて手術ができるようになった」と言えるんだよ…と伝えています。一人でも多くの若い医師がバリバリ活躍できるよう、これからもサポートしていくたいと思っています。

教育・研究



大学病院では、診療だけでなく研究も重要視されています。この点が、他院と大きな違うところではないでしょうか。

私は「大腿骨頭壊死」の研究に取り組んでいます。この病気は、様々な原因によって太ももの骨頭部分が壊死してしまう病気です。こうした病気になる患者さんを少しでも減らすことを目的に、「病気になる確率を下げるためにはどのようにしたら良いか」をテーマに研究をしています。日中は病棟業務に追われる多いため、夕方から深夜の時間をやりくりして研究にあてています。

また、最新の医療技術を学ぶために国内外の学会や研究会にも、研究室メンバーのサポートもあり、積極的に参加させてもらっています。今後は若手医師が積極的に参加できる環境を作りたいと考えています。



耳鼻咽喉・頭頸部外科

質の高い医療が提供できるように
今後も努力してゆきます。



教授 竹内 万彦
かずひこ

1

どんな病気を治療していますか？

耳鼻科というと、耳やのどの痛み、鼻アレルギーなど、主に外来での治療を想像されるかと思います。本院は、これらの病気も治療しますが、県内の医療機関からの紹介で来院される患者さんが多く、次の様な特徴があります。

2

三重大学病院の特徴

耳、鼻、のどの順番でお話しします。

耳については真珠腫などの中耳炎や耳小骨の奇形の手術の他、人工内耳の診療を行っています。特に人工内耳は、重い難聴で補聴器も効果が無い方に「聴こえ」を取り戻す画期的な治療です。

鼻に関しては治りにくい副鼻腔炎(蓄膿症)に対して、より安全で確実な内視鏡による手術を行っています。においや味が低下すると食事も美味しくなくなりますが、嗅覚や味覚障害の治療も行っています。また、スギ花粉症を中心としたアレルギー性鼻炎の患者さんは大変増えています。これまで皮下の免疫療法(エ

キスを注射する方法)を行ってきましたが、来年からは舌下免疫療法も行えるようになってきました。免疫療法はアレルギーの完治が期待できる方法で、舌下で行うと、注射のような痛みがなく、家で続けることができます。

のどに関しては、色々な理由で声がかれたり、出なくなったりしている方のリハビリや手術的治療を行っています。また、頭頸部癌も当科の治療対象であり、のどや口の中の癌のみならず、甲状腺や耳下腺の腫瘍の治療も行っています。手術は大切な治療法ですが、嚥下や発声などの本来の機能を温存するために手術を行わずに放射線の照射や化学療法を行うこともあります。

3

患者さんへひとこと

耳鼻科は、音を聞いたり、美味しい物を食べたり、おしゃべりしたり、人が人間らしく生きていく上で重要な感覚や機能の多くを受け持ちます。質の高い医療が提供できるように今後も努力してゆきます。





臨床麻醉部

麻酔は手術の痛み・ストレスから
患者さんを守ります。



臨床麻醉部
部長 宮部 雅幸

1

どのようなところですか？

当院の麻酔管理を担当しています。本院で行われる手術の全ての麻酔は、麻酔科医によって行われ、外科医は手術に専念できる環境が整っています。これにより、患者さんは安心して手術を受けられると共に、医師も安心して執刀することができます。

2

臨床麻酔部について教えてください。

医師は研修医を含め13名、看護師は2名です。三重県内の病院の中には、外科医が麻酔を行っている病院がまだ多くあり、これを解消していくために若手医師を育成する必要があると考えます。また、現在建設中の外来棟が完成すると手術室が4つ増える予定です。こうした状況に対応するためにも、今後も麻酔科医の育成に力を入れていきたいと考えています。

3

どんな業務を行っていますか？

下記の麻酔を含め、すべての麻酔管理を担当しています。

- 心臓手術（小児含む）
- 大血管手術
- 肝移植
- 腎移植
- 小児外科
- 小児の検査麻酔
- エックス線透視下の痛みを伴う治療

4

特徴を教えてください。

麻酔管理は様々な職種の協力により成り立っています。薬剤部の協力で、手術室内にサテライトファーマシーが設置されており、必要な薬品が必要な時に手に入る環境が整備されています。手術室内に薬剤師が常駐していることは、全国的に見ても珍しいケースで、厳重な管理が求められる麻薬の管理なども行っています。

また、小児から成人まで術後痛くない麻酔を心がけています。手術を受けたお子さんがすやすやと眠りながら、病室に戻るのが特徴です。

5

女性医師でも働けますか？

麻酔科医は医師の業務の中でも「予定が立てやすい」ことが特徴です。本院でも、複数の女性麻酔科医が活躍しています。また、病院としても院内保育所や学童保育所を設置するなど、様々な環境を整備しています。





File. 8 8階南 脳神経外科・神経内科・I V R科

看護目標 やってよかった、やってもらってよかったと思える看護の提供

病床数 50床

職員数 37名(看護職員35名、事務職員2名)

スタッフの STAFF VOICE 声



意識障害や麻痺があり、自分で自分のことができない患者さんが多い病棟ですが、その分“患者さんの身になって”を学ぶ機会が多く、とても奥が深いです(師長の名前にちなんで…)。

食事介助や排せつ介助・清潔介助など日常生活の援助が必要な方が沢山みえる病棟ですが、患者さんの自尊心を尊重したケアができるように日々自分の言動に気をつけて行動しています。

患者さんの回復する力を引き出すために、力を合わせて看護に取り組んでいます。

8階南病棟は、脳卒中（脳梗塞や脳出血など）の患者さん、脳神経外科の手術を受ける患者さんや神経内科の神経難病の患者さんが入院される病棟です。意識障害や認知機能の障害、手足の運動障害、嚥下障害など、今までの日常生活で当たり前にできていたことが突然できなくなったり、症状が悪化していく患者さんが少なくありません。

また、手術や神経難病と向き合う中で不安を抱えた患者さんも多くいらっしゃいます。そのため、病気と向き合い治療を継続したり、様々な障害とともに生活していくにはどうしたらよいかを看護スタッフだけでなく、医師や薬剤師、医療福祉支援センターのソーシャルワーカー・難病医療専門員や心理士、リハビリテーションスタッフ、栄養士など他職種で日々話し合っています。

患者さんやご家族がやってもらってよかったと思え、私たちもやってよかったと思える看護をめざして患者さん一人ひとりに合わせた看護ができるように頑張っています。

意識障害や麻痺がある患者さんに、どのような援助がいるのか、どう関わっていけば良いか、日々スタッフ同士で話し合って、考えながら看護にあたっています。移乗の介助など体力的にも大変ですが、患者さんの回復が目に見えて実感でき、やりがいがある日々を送っています。



看護師長 奥 成子



手足にしびれや痛みがある患者さんが多いので、一つひとつの動作に介助を必要とし、大変な部分もありますが、たくさんの時間を患者さんと一緒に過ごしている分、ちょっとした変化に気づくことができ、少しずつよくなっている過程をともに実感し、喜び合えるため、とてもやりがいを感じています。

すごいなんですね!!

実はこの機械
CT検査で3D画像を作成



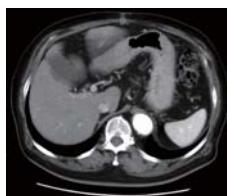
中央放射線部 診療放射線技師
太田真緒

趣味：お菓子作り、吹きガラス
休日の過ごし方：ウォーキング、車の練習（…予定）

身体のあらゆる部位を撮影するCT

CTはComputed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略語で、エックス線を利用して人体を輪切りにした断面の画像を撮影できる装置です。頭からつま先まで様々な疾患に用いられます。

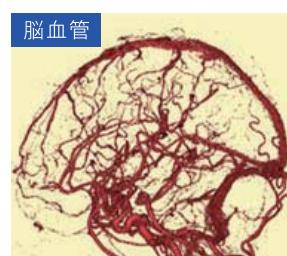
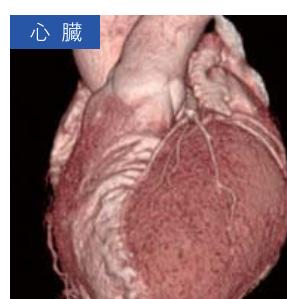
当院では東芝、GE、Siemens社製の最新CT装置が計6台稼働しており、1mm以下（最薄



0.5mm）の画像を高速（わずか数秒）で撮影することができます。また、薄く細かい画像から3次元画像（3D）を作成することが可能です。

気をついていること

3D作成では「いかに実物通りに作るか」ということに細心の注意を払っています。3Dが必要な患者さんの手術や治療に少しでもお役に立てるよう、これからも適切かつ迅速に提供していきたいと考えています。



CT画像から迅速に3Dを制作

当院では、CTやMR画像から瞬時に3Dを作成する「ZIOSTATION」を導入しています。この機器は、患者さんそれぞれの血管や骨、臓器、病変部位などの形や位置を立体的に把握するために使われます。特に骨折や腫瘍、血管などの病変や、その周囲にある重要な血管の状況を確認するため、術前のシミュレーションなどに用いられます。

出張企画 内田学長が行く 沖永良部島

三重大学OGの徳涼子先生が、奄美群島の一つである沖永良部島で小児科医として活躍しています。今回、内田学長が沖永良部島を訪問し、徳先生と対談しました。

奄美大島
沖縄



旦那さんの故郷へ

内田:出身は関西のことやけど、沖永良部島へ来るキッカケは?

徳先生:子育てをする上で、両親の力を借りたかったので、夫の地元に帰ることにしました。



子供たちの笑顔をみたい

内田:私は子どもの頃、「音楽家か芸術家になりたい。」と思ってたんや。先生は何で医者になろうと思ったの?

徳先生:子どもの頃に新聞でアフリカの子ども達が栄養失調になっている写真を見て「大変!医者になって助けなくっちゃ!」と思ったのが動機です。



食べ物が美味しい

内田:先生、こちらに来て良かったことはなんやろ?

徳先生:魚も果物も何でも美味しいことです。特にマンゴーは絶品ですね!梅酒や梅ジュース自分で作ったりもしていますよ。それと…自然がいっぱいなことです。また、時間どおりに仕事が進みやすいこともあって家族と過ごす時間が増えました。以前は夫とケンカする時間も無いほど忙しかったんですが…(笑)



色々なスタッフとの連携

内田:この島には徳先生一人しか小児科医はおらんけど、困ることは何かある?

徳先生:島から本土の大きな病院へ患者さんを搬送することはよくあるんですが、天候不良のため搬送が出来なくなり困ることがあります。そんな時は、紹介先の先生に相談し、対処することもあります。島での医療は限られていますが、島外にも医師同士のつながりができ、話し合える機会も増えてきました。実は三重県の先生方にも相談にのってもらっていたりします(笑)

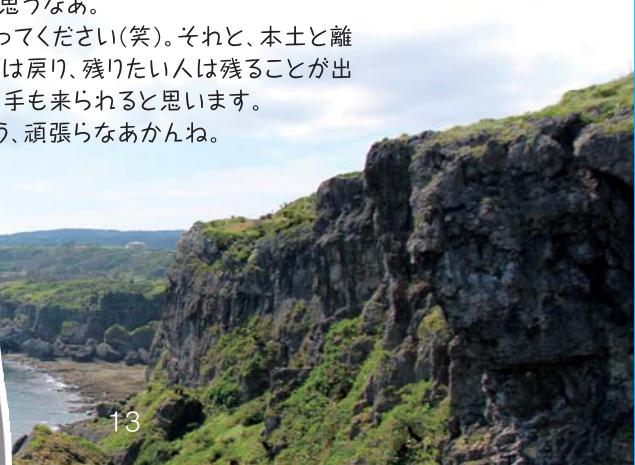
今後について

徳先生:島には常勤の精神科医がないので、その勉強をしていきたいと思っています。それと、少しでも離島医療に興味を持つ医療スタッフが増えるよう頑張っていきたいと思います。

内田:そのためには、離島で医師をするとキャリアアップにつながる…という構図が出来れば、どんどん離島医療に興味を示す医師が増えると思う。その結果、地域のみなさんは安心して暮らすことが出来るようになると思うなあ。

徳先生:本当にそうですよね!学長、その構図を作ってください(笑)。それと、本土と離島のローテーション体制を導入すれば、戻りたい人は戻り、残りたい人は残ることが出来るようになるんじゃないでしょうか。そうすれば若手も来られると思います。

内田:そうやね。そういう社会の仕組みができるよう、頑張らなあかんね。





野菜冷凍術で時短&簡単調理 家庭でもできる冷凍セット!

服部 文菜

小松菜&きのこセット

忙しく料理に時間がかけられない方、昼食など簡単に済ましたい方、
単身の方、料理が面倒な方、野菜が少ない方、野菜を一度に使い切れない方に!

生のまま
冷凍!
凍ったまま
調理!
休日にまとめて買いして
冷凍しておくと良いでしょう。



小松菜は水洗いして水気をしつかりきる。



小松菜は根もとを切り落としざく切り、しめじは石づきを切り落としほぐす。



保存袋に入れて、袋を手で押して中の空気をできるだけ抜く。



封をして冷凍する(1ヶ月保存可)

和えて 野菜のツナ おかか和え

材料 2人前

冷凍セット 100g
ツナ缶(ノンオイル) 1/2缶
削り節 1g
だし醤油 小さじ1

作り方

- ①鍋に湯を沸かし、凍ったままの冷凍セットを入れひと煮して、ザルに上げて水けをきる。
- ②粗熱が取れたら、しっかりと水気を絞ってボウルに入れる。
- ③②に汁を切ったツナ、削り節、だし醤油を加えてあえる。



スープにアレンジ自在! 野菜のスープ

材料 2人前

冷凍セット 120g
顆粒中華スープの素 大さじ1
醤油 小さじ1

作り方

- ①鍋に水2カップを沸かし、凍ったままの小松菜&きのこのこと中華スープの素を加えて中火で煮る。
- ②沸騰したら、醤油で味を調整する。



具として

ポイント

冷凍しているため、水分が多くなります。炒めるときは、強火でさっと炒めましょう。



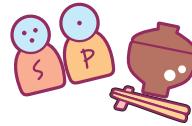
煮て 厚揚げの 煮びたし

材料 2人前

冷凍セット 150g
厚揚げ 1/2枚
だし汁 2カップ
醤油 小さじ1
みりん 大さじ1
塩 少々

作り方

- ①厚揚げは熱湯をかけ油抜きし、一口大に切る。
- ②鍋にだしを煮立て、調味料で味をつけ、厚揚げを入れて2~3分煮る。
- ③小松菜&きのこを加え、さらに2~3分煮る。火を止めて少しおき、味を含ませる。



キャベツ&もやし&人参

他にも 玉ねぎ&もやし
プロッコリー&トマト



炒めて 添え野菜に

ほうれん草やたけのこは
アツが強いので、茹でてから冷凍すると良いで
しょう。

すべて調理時間が同じになるように、人参などの野菜は薄めの短冊切り、千切りにすると良いでしょう。

クロスワード パズル

ヒント 2014年の干支は… A B C D

1	2	3	4	5
6			D	B
7			C	
8			9	10
11	A			

解答は17ページに掲載しています。

A～Dを並べると
ある言葉になります。

タテのカギ

- 俚び言。俗言または田舎言葉、方言のこと。
- 炎(蓄膿症)の内視鏡手術も
当院では行っています。
- 港だった頃の津の名称。日本三津の一つです。
- 石でできた鳥居のこと。
- ドラマでも話題になった、海に潜って貝などを捕る女性。
- 春の七草の「スズナ」です。

ヨコのカギ

- 蒼玉。青い宝石で、9月の誕生石でもあります。
- 今回登場した沖永良部島は奄美群島で3番目に
大きな島です。1番は奄美大島ですが、では2番目は?
- vivid。鮮やかな色や、転じて活き活きとしていること。
- 語と句のこと。文章中のひとまとまりの言葉。
- 国語、算数、○○、社会。
- 今回掲載の診療科は耳鼻咽喉・○○○○○外科です。

輸血部 新ユニフォーム

輸血部には、医師2名、看護師1名、
臨床検査技師6名、事務員1名の10名が
所属し、新病棟3階で輸血業務をしています。
血液型検査、輸血用検査、造血幹細胞採取、
自己血採取などを行っています。
今回、どこへ行っても輸血部と
わかるように、デザインを
考えユニフォームを作りました。

いつでも声を
かけてください。





イベント情報



今後の予定

ワンコイン乳がん (マンモグラフィ)検診

2014年1月25日(土) ※500円が必要です。

申込期間は12/20までですが、定員に満たない場合、過ぎても受け付けます。

■対象:マンモグラフィ検診がはじめての方、または2年以上受けていない方など

■場所:当院の他、県内15の医療機関

■お問合せ先:三重乳がん検診ネットワーク

■Tel:059-231-6033

「発見塾」

高血圧を予防・治療して、
延ばそう健康寿命

2014年1月25日(土) 13:30~15:00

■場所/芸濃総合文化センター 大研修室

■お問合せ先/三重大学附属図書館

■電話:059-231-9032

■URL:<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>

「発見塾」

健康寿命を延ばすための食生活とは?

2014年3月22日(土) 13:30~15:00

■場所/津リージョンプラザ2階 健康教室

■お問合せ先/三重大学附属図書館

■電話:059-231-9032

■URL:<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>

ハロウィン 小児科病棟

2013年10月23日



小児科病棟でハロウィンのイベントがありました。子どもたちは、ゲームのキャラクターに扮した職員たちからお菓子を受け取っていました。子どもたちも職員も楽しい時間を過ごしました。

Ocean View Concert

2013年10月24日

2013年11月14日

2013年12月19日



毎月恒例のオーシャンビューコンサートが行われました。10月はカワグマジッククラブによる楽しい手品、11月は胡蝶による二胡の演奏、12月はアンサンブル・マミー&佐波真奈美(ピアノ:北川裕子)によるクリスマスコンサートでした。病室へも院内放送で生中継をしました。

ドクターへり見学会

2013年10月28日



津市立北立誠小学校の子どもたちがドクターへりの見学にきました。秋空の下、ドクターへりについて今井寛救命救急センター長からの説明を、子供たちは熱心に聞いていました。

中央検査部と輸血部が ISOを取得しました。

2013年11月13日



中央検査部と輸血部がISO 15189:2007を取得しました。この認証を取得することで、検査に関するすべての事項を国際的なマネジメントシステムの要求事項に従って行います。その結果、技術能力が評価され国際的な検査品質と比較することができるようになるため、検査データに対する信頼性が向上します。

JAZZ BAR

2013年11月20日

2013年12月11日



JAZZ BARが11月と12月に開店しました。おなじみSunny All Starsによる演奏で、ポップスからジャズまで、いろいろな曲が演奏されました。

元プロ野球選手の みなさんが慰問に 来られました

2013年11月27日



元プロ野球選手で現在は、野球解説者の野村弘樹さん、DeNAベイスターズコーチの川村丈夫さんと、来春より中日ドラゴンズでコーチに就かれる波留敏夫さんが、小児科病棟へ慰問に来られました。子どもたちだけでなく、職員も大いに盛り上がり、忘れられない一日になりました。

出来事

新外来棟 工事進む

2015年 開院予定

新外来・診療棟の工事が順調に進んでいます。建物自体は5階まで完成し、病棟と同じ色のタイルを貼る工事が行われています。建物内はコンクリートむき出しの状態ですが、今後壁などが出来ていく予定です。工事の状況は「再開発担当者ブログ」で随時アップされますので、ぜひご覧ください。

再開発担当者ブログ
<http://mieuh.blog.fc2.com/>



免震構造を採用しており、大きな地震にも安心です。

これから壁や天井を作ていきます。

ウイッグの贈呈が行われました。

NPO法人キャンサーリボンズとP&Gパンテーンが共同で行っている「キレイの力」プロジェクトに本院が採択され、患者さんにウイッグの贈呈が行われました。このプロジェクトは2社が共同でがん治療中の女性患者さんを支援するものです。本院リボンズハウスが患者さんに呼びかけ、今回は本学看護学生の協力を受けて、ウイッグの一部に学生が大切に伸ばしてきた髪も使われています。

ウイッグをプレゼントされた患者さんは「これで、笑顔でお友達と食事に行ける」と嬉しそうに話をされていました。また、髪を提供した看護学生から「実習で患者さんと関わってきて、少しでも病気で鬱々している方の力になりたい」と患者さんを少しでも応援したいという気持ちが伝えられました。

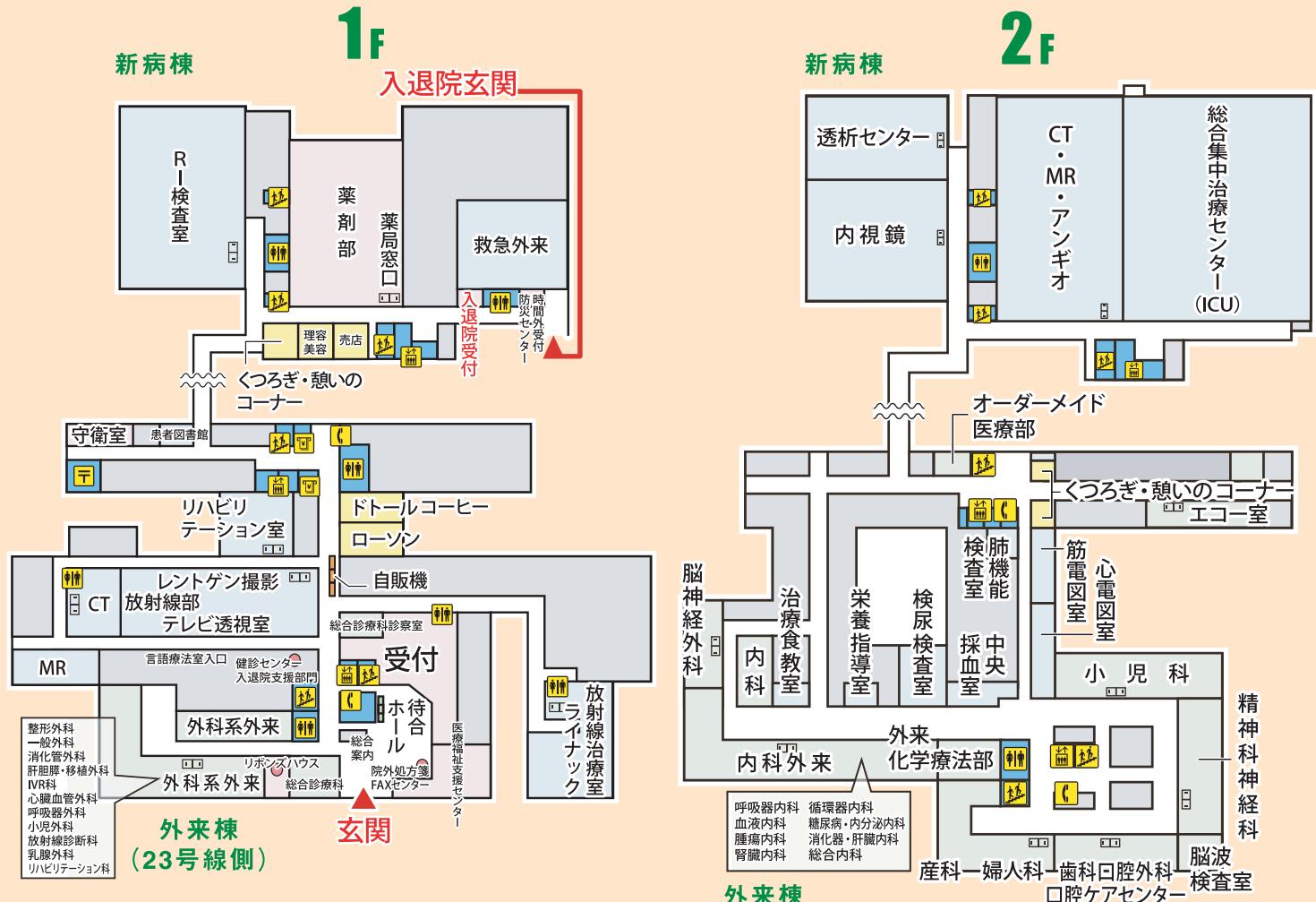


〈クロスワード〉
パズルの答え

A~D:ウマドシ

サ	フ	ア	イ	ア
ト	ク	ノ	シ	マ
ビ	ビ	ッ	ド	
ゴ	ク		リ	カ
ト	ウ	ケ	イ	ブ

フロア案内



12F レストラン 三医会ホール

11F 病棟 血液内科、腫瘍内科、眼科、皮膚科

10F 病棟 循環器内科、心臓血管外科、総合内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器内科、呼吸器外科

9F 病棟 消化器・肝臓内科、消化管外科、肝胆脾・移植外科

新病棟

7F 北病棟 婦人科、乳腺外科

南病棟 周産母子センター

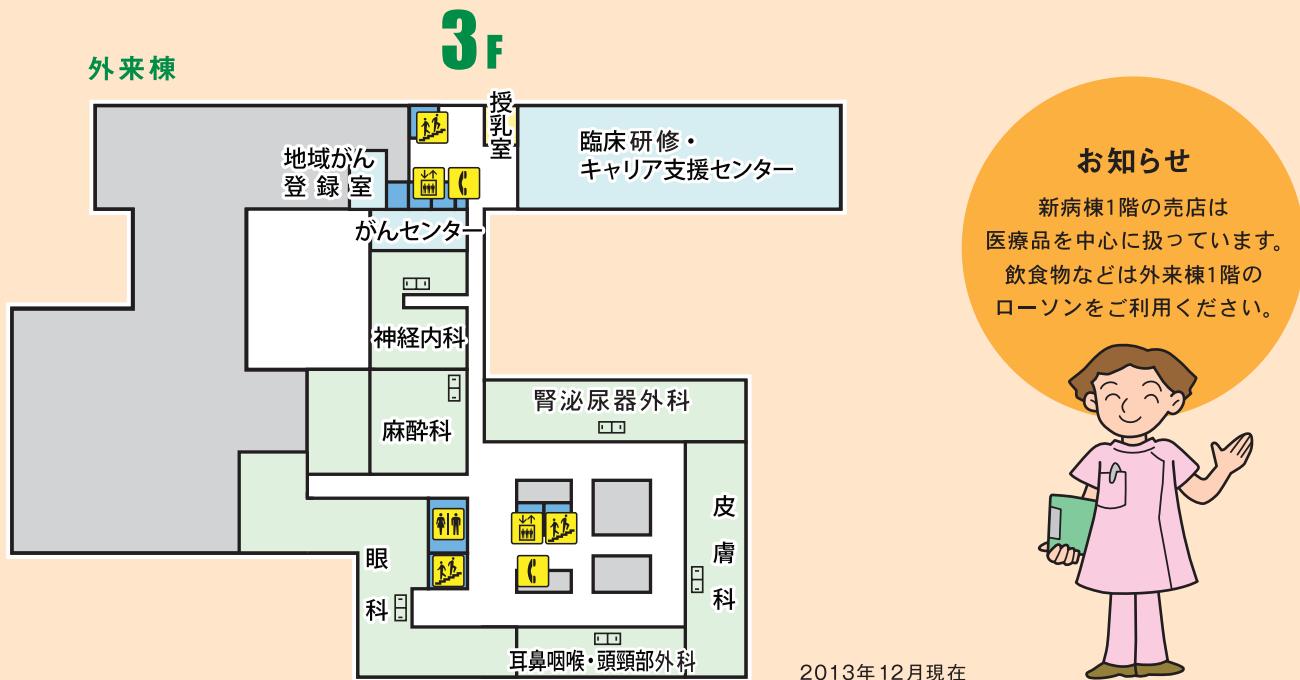
6F 北病棟 腎泌尿器外科、歯科口腔外科

南病棟 小児科、小児外科、小児心臓外科、細胞移植療法部

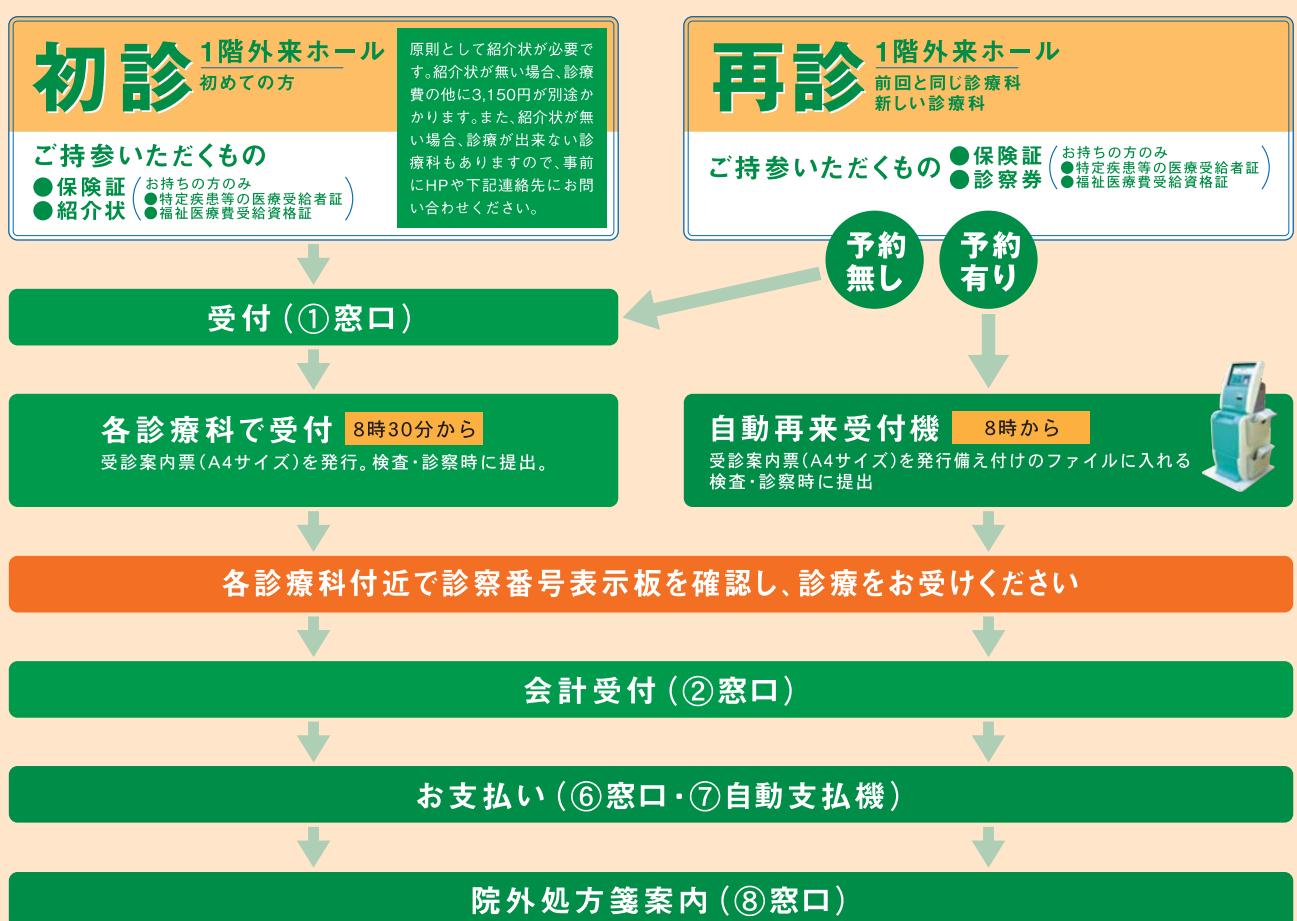
5F 北病棟 耳鼻咽喉・頭頸部外科

南病棟 精神科・神経科、RI病棟・密封小線源治療

3F 中央検査部(緊急検査室)、輸血部、病理部、臨床工学部、中央材料部・中央手術部(手術室)、臨床麻酔部



受診案内



詳しくは、病院HPへ

ご不明な点は診療案内係まで
TEL:059-231-5072

曜日によって休診する診療科があります。



看護師 助産師募集

随時
対応します。

病院見学・保育所見学



卒業予定の看護学生、就職を考えている
現役看護師・助産師の方もご参加いただけます!
お子様も連れてお気軽にどうぞ。

三重大学医学部附属病院小児科 父母会「ひだまり」

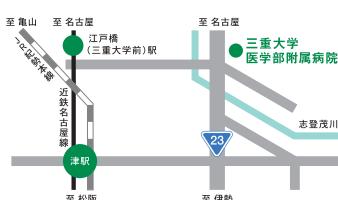
わが子の発病をきっかけに、当院の小児科病棟で子どもと共に闘病生活を経験した親が平成10年に結成しました。病気と向き合う子どもやご家族を支援することを目的として活動をしています。夏祭り、おひさまキャンプ、クリスマス会の協力参加、またバザーの開催、ひだまり通信の発行そして講演会のお手伝いなど様々な活動を行っています。今後とも父母会「ひだまり」をよろしくお願いします。

お問い合わせ先

小児科病棟 TEL:059-232-1111(代表)



より詳しく知りたい方は
携帯電話から当院のホー
ムページをご覗ください。



国立大学法人【特定機能病院】
三重大学医学部附属病院

総務課人事係
TEL 059-231-5046 (直通)
E-mail s-jinji@mo.medic.mie-u.ac.jp

看護部
TEL 059-231-5184 (直通)
http://www.hosp.mie-u.ac.jp/nurse/
臨床研修
キャリア支援センターホームページ
http://www.mie-u-ccc.com/